



2023年6月2日

各 位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員兼 辻本 拓
財務IR部長
TEL. 03-5937-6466

(訂正) 「中期経営計画に関する資料」の一部訂正について

2023年5月12日に開示いたしました、「中期経営計画に関する資料」について、一部訂正すべき事項生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社IRサイトに掲載している当該説明資料の訂正は反映済みとなっております。

記

1. 訂正の主な理由

2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がございましたので、関連する2023年3月期の業績を訂正いたしました。訂正の理由につきましては、本日公表いたしました「(訂正・数値データ訂正)2023年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

2. 訂正の内容

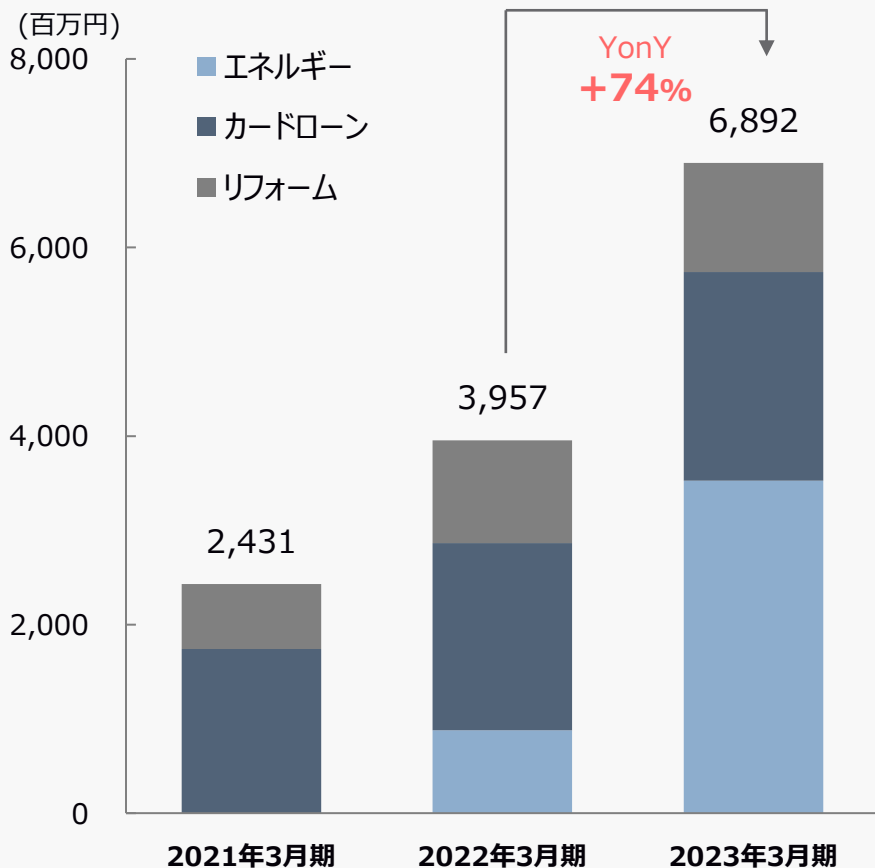
詳細は別紙をご参照ください。訂正箇所には赤色の下線をつけております。

以上

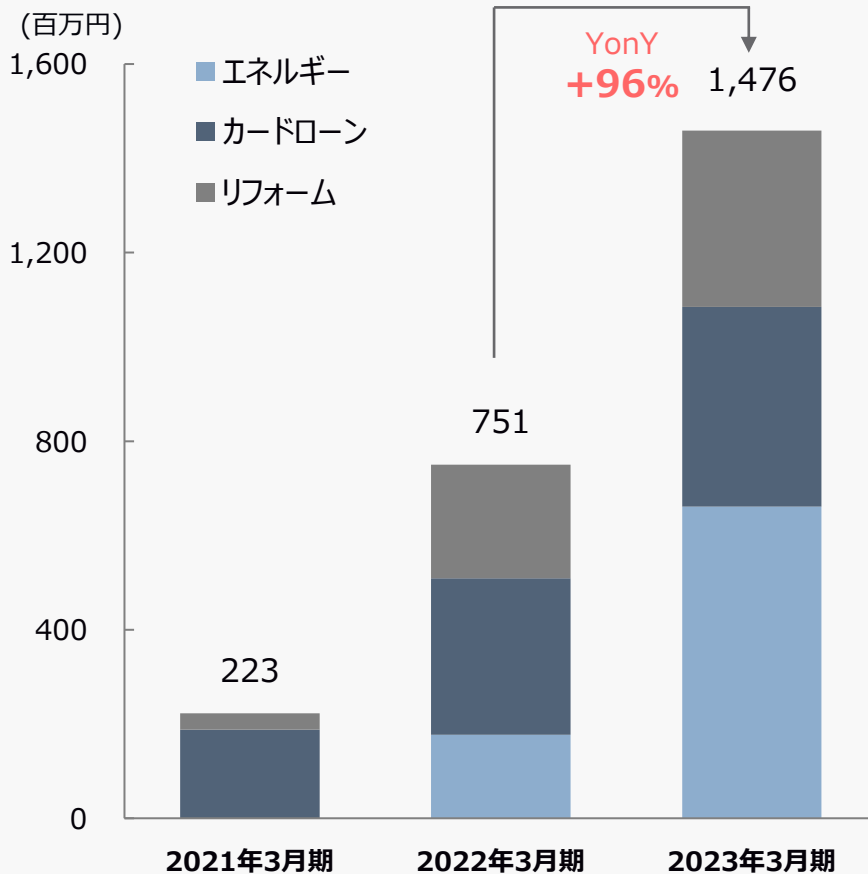
対象市場の拡大により売上、利益ともに伸長。M&Aしたリフォーム領域においても買収後の成長を実現。

エネルギー領域は市場環境の悪化の影響を受けるも善戦。来期以降の市場回復を受けてさらなる成長を見込む。

売上収益



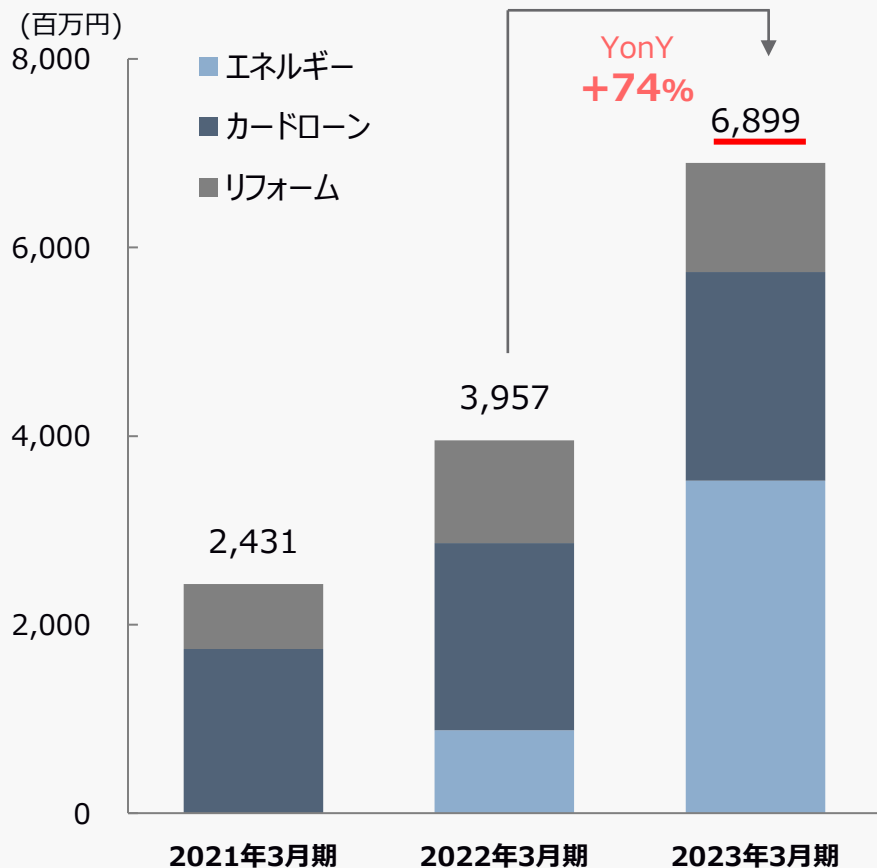
事業利益



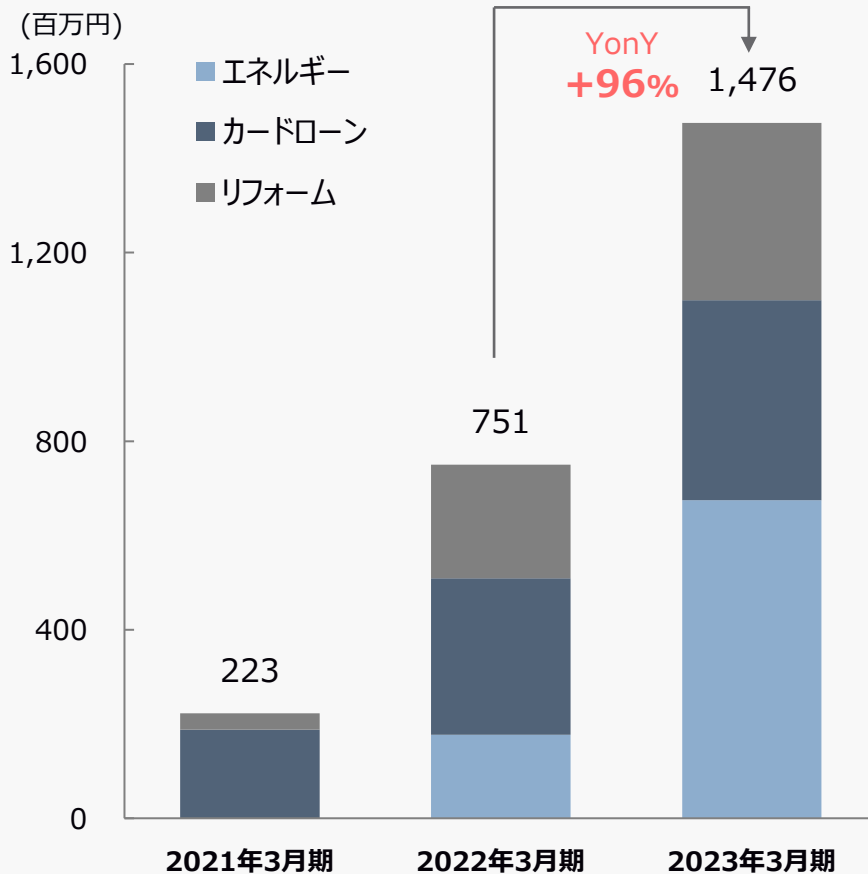
対象市場の拡大により売上、利益ともに伸長。M&Aしたリフォーム領域においても買収後の成長を実現。

エネルギー領域は市場環境の悪化の影響を受けるも善戦。来期以降の市場回復を受けてさらなる成長を見込む。

売上収益



事業利益



中期経営計画の達成

2023年3月期を最終年度とする中期経営計画を、2020年9月に公表。厳しい外部環境の変化を鑑み、前期は一度下方修正を実施したものの、その後、各サービスが大きく挽回する形で、当初目標を上方修正する形で着地。

	2022/5公表 下方修正	2022/11公表 上方修正	2023/2公表 上方修正	実績	達成率
連結 売上収益	93億	103億	111億	113.5億	102.3%
連結 EBITDA	15億	17億	20億	20.2億	101.3%

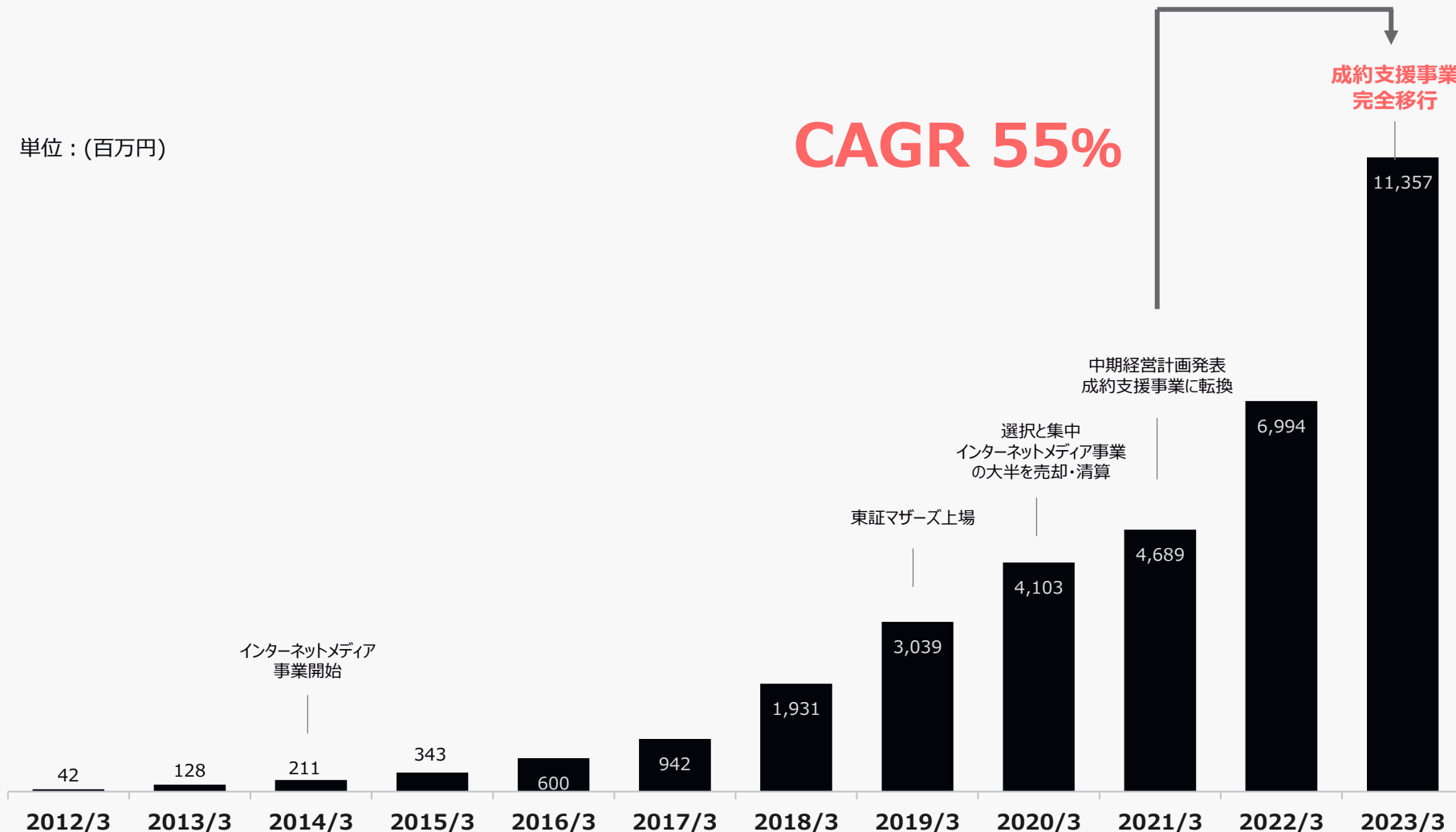
2023年3月期を最終年度とする中期経営計画を、2020年9月に公表。厳しい外部環境の変化を鑑み、前期は一度下方修正を実施したものの、その後、各サービスが大きく挽回する形で、当初目標を上方修正する形で着地。

	2022/5公表 下方修正	2022/11公表 上方修正	2023/2公表 上方修正	実績	達成率
連結 売上収益	93億	103億	111億	<u>113.6億</u>	<u>102.4%</u>
連結 EBITDA	15億	17億	20億	<u>20.1億</u>	<u>100.5%</u>

売上収益の推移

成約支援事業へ完全移行を実現し、中期経営計画発表時からCAGR55%を実現。

単位：(百万円)

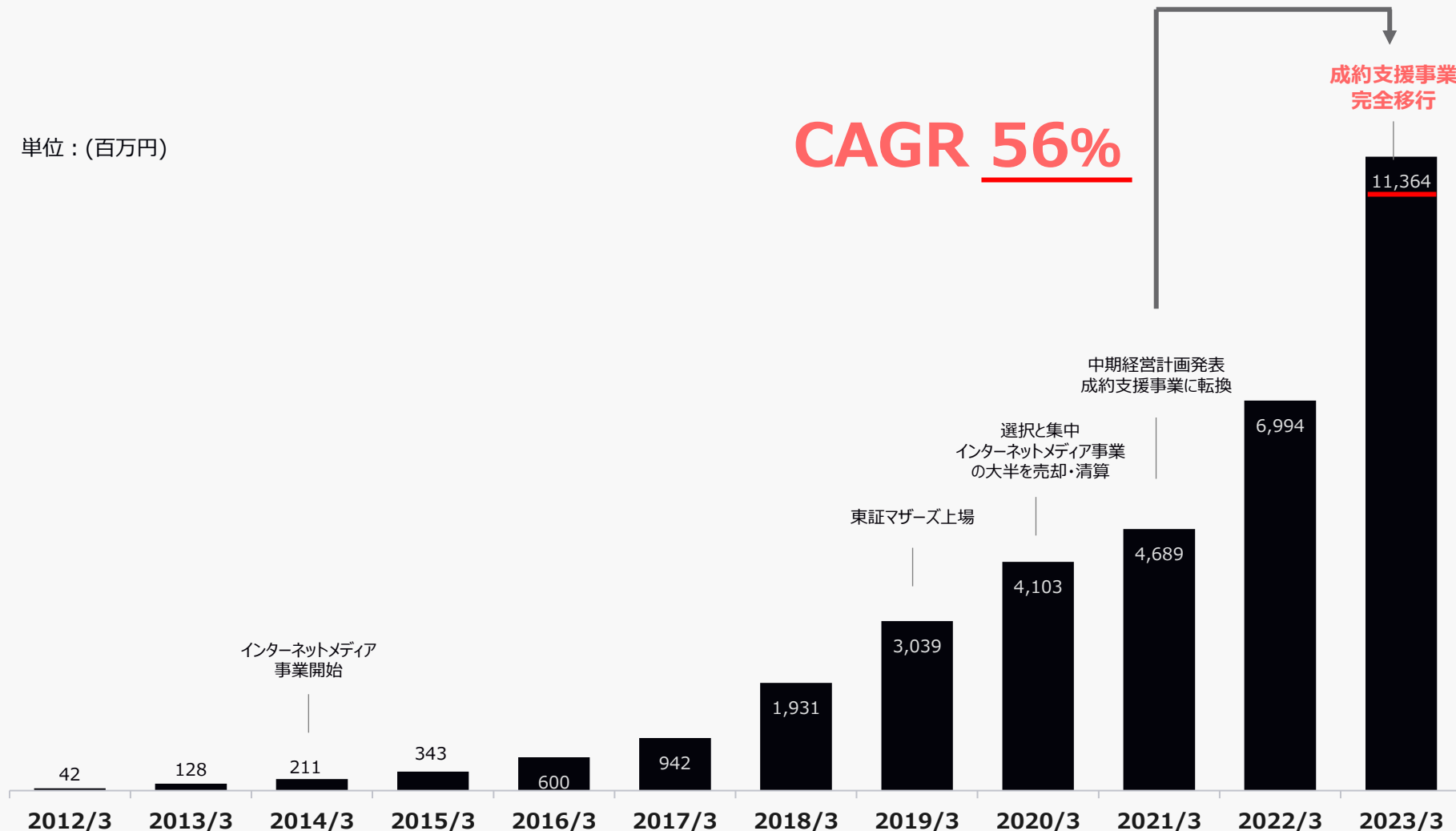


(訂正後)

売上収益の推移

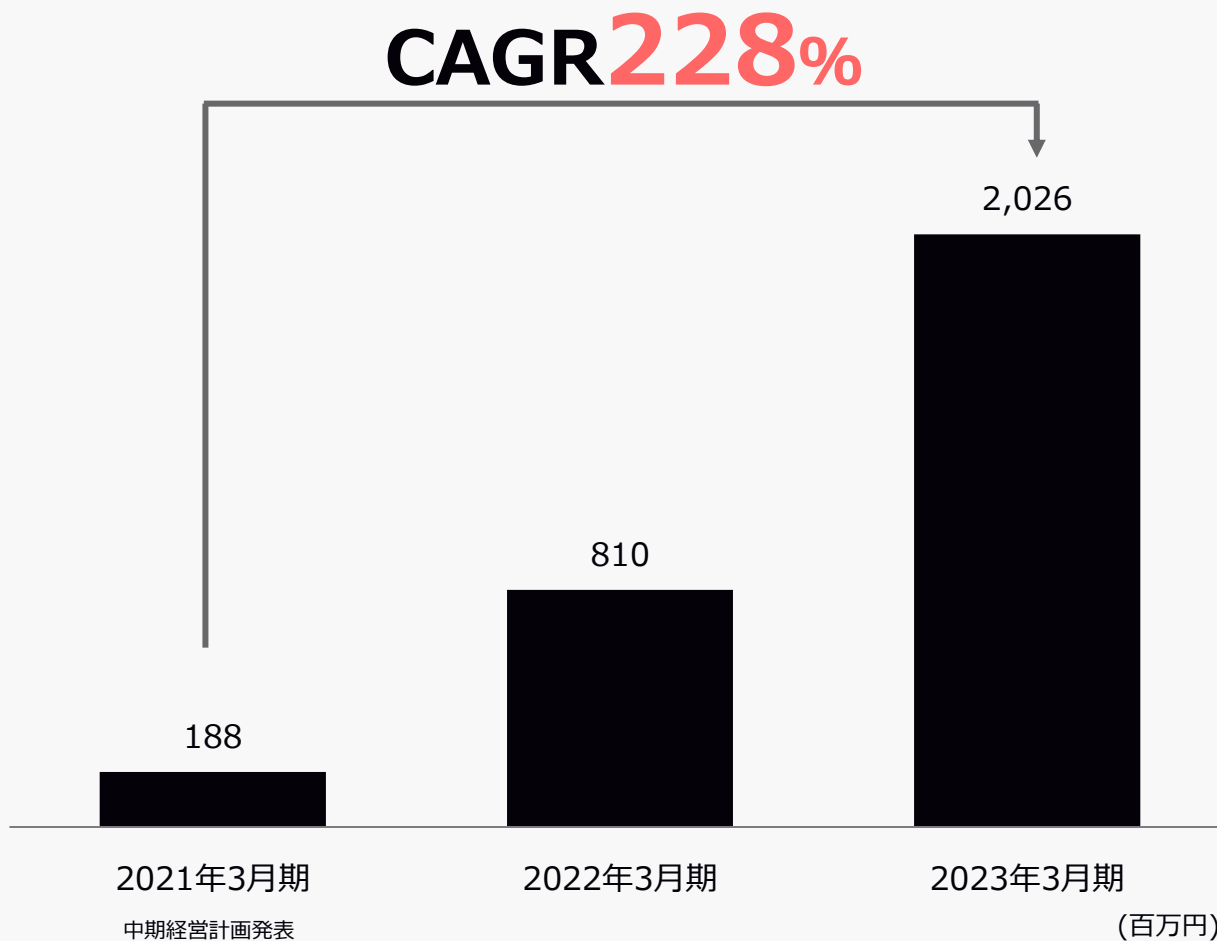
成約支援事業へ完全移行を実現し、中期経営計画発表時からCAGR56%を実現。

単位：(百万円)



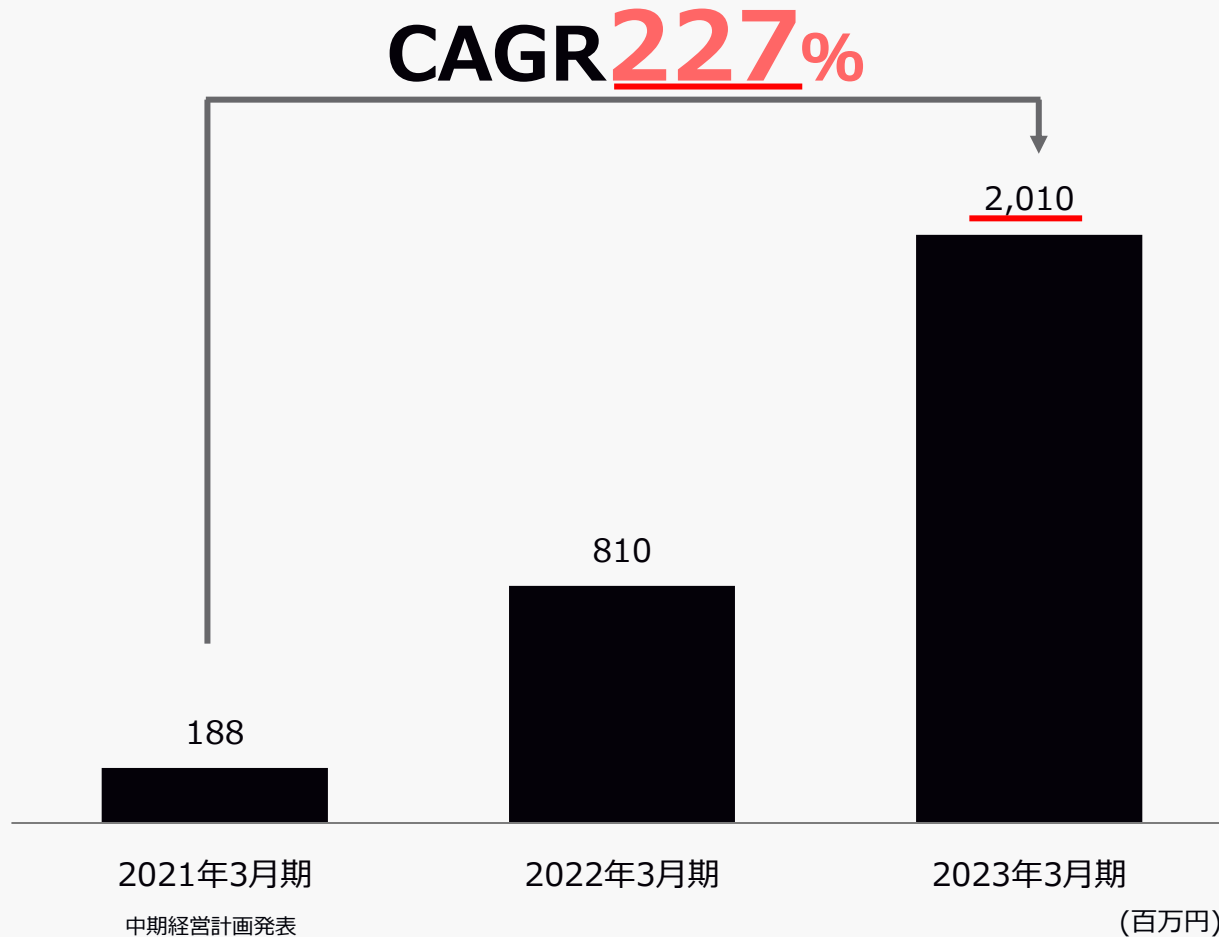
EBITDAの推移

大規模な各サービスへの事業投資の効果が出てきたことで、圧倒的な利益成長率を実現。
中期経営計画発表後のCAGRは228%を実現。



EBITDAの推移

大規模な各サービスへの事業投資の効果が出てきたことで、圧倒的な利益成長率を実現。
中期経営計画発表後のCAGRは227%を実現。

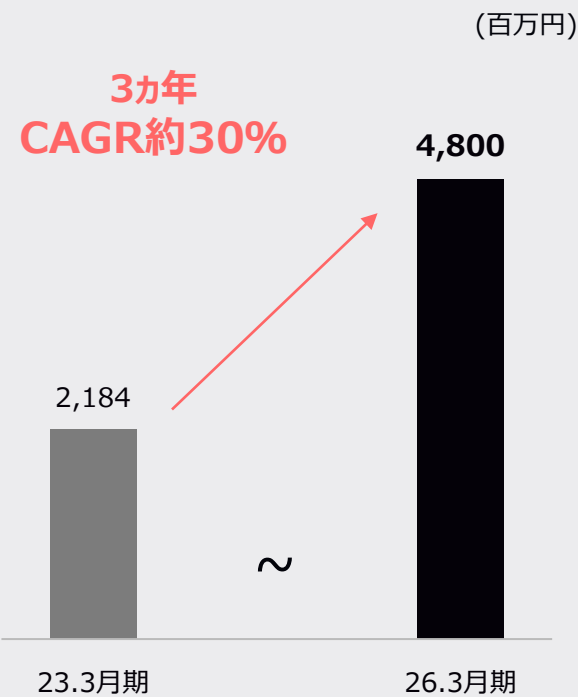
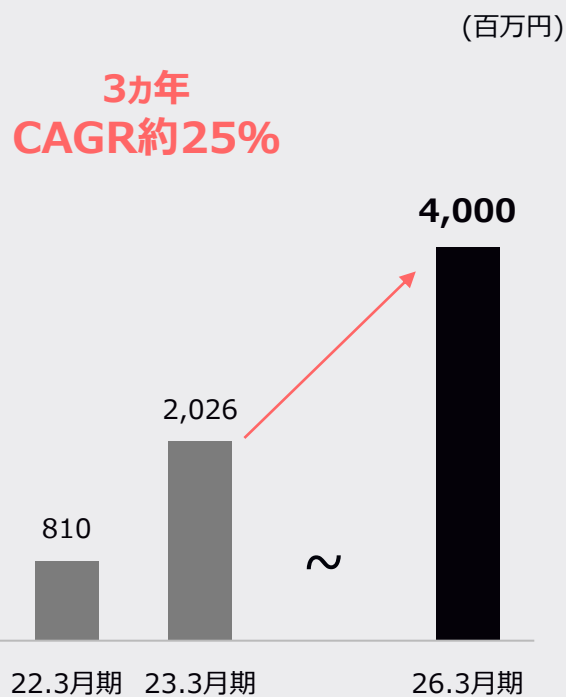
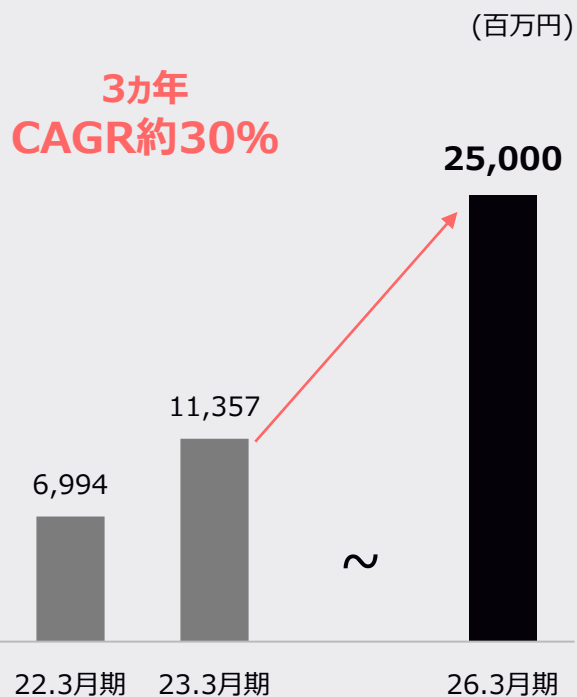


大幅な増収増益と、野心的な計画を設定。売上収益はCAGR30%成長を前提とする一方で、期間中は将来収益を意識するため、将来収益込みEBITDAでの30%成長を目指す。

売上収益

EBITDA

将来収益込みEBITDA※



※ 将来収益込みEBITDA=EBITDA+本来ショット収益として当期に計上した場合の収益

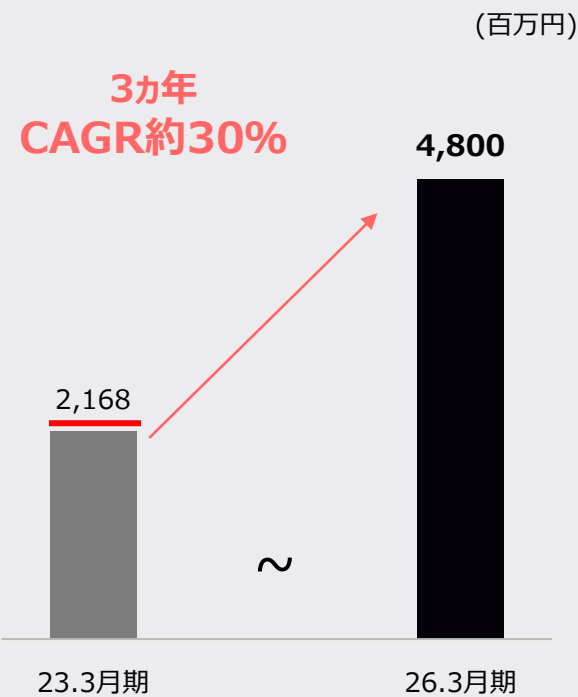
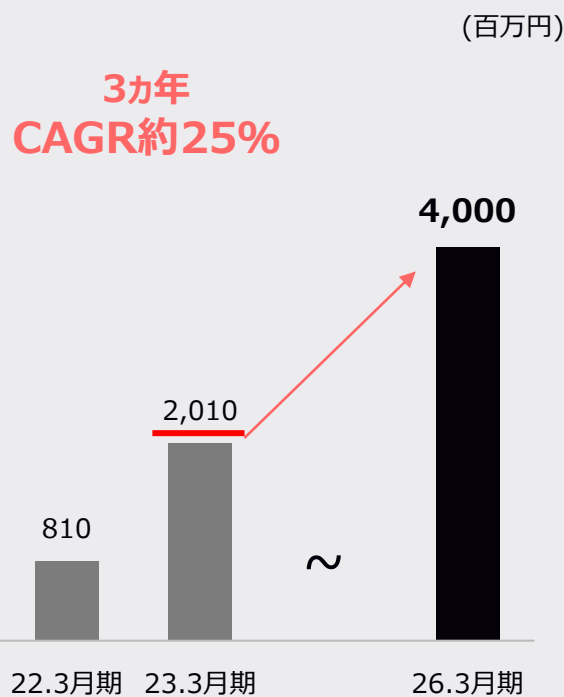
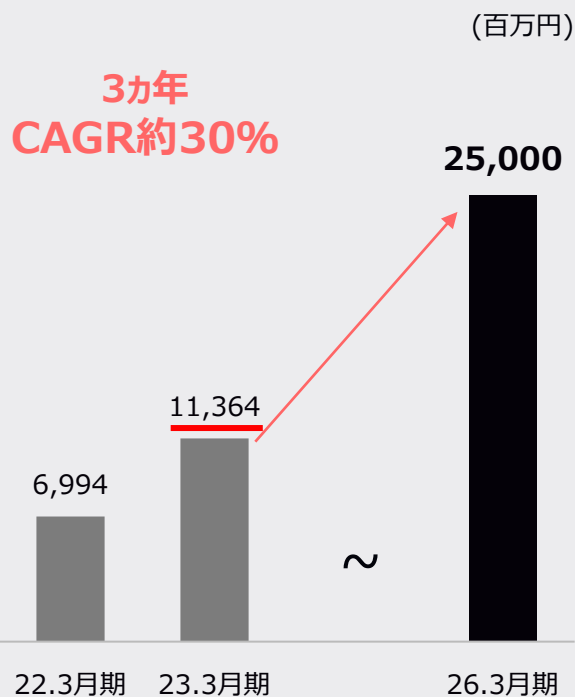
中期経営計画 財務ガイダンス

大幅な増収増益と、野心的な計画を設定。売上収益はCAGR30%成長を前提とする一方で、期間中は将来収益を意識するため、将来収益込みEBITDAでの30%成長を目指す。

売上収益

EBITDA

将来収益込みEBITDA※



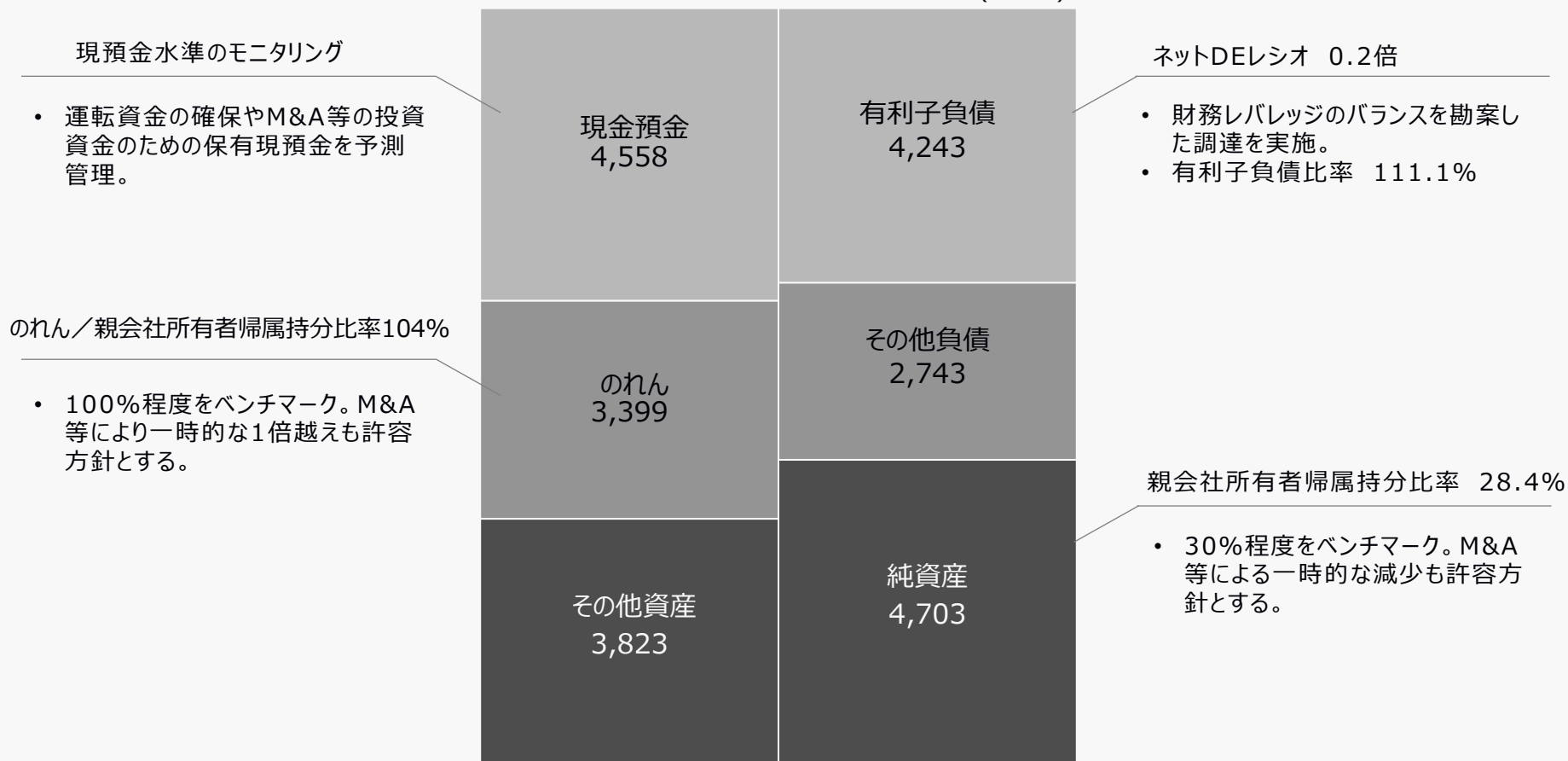
※ 将来収益込みEBITDA=EBITDA+本来ショット収益として当期に計上した場合の収益

財務基盤の盤石化を図りながらも、積極的な事業投資やM&Aが実行可能な投資資金を確保していく。

2023年3月末時点

連結BS (IFRS)

(百万円)



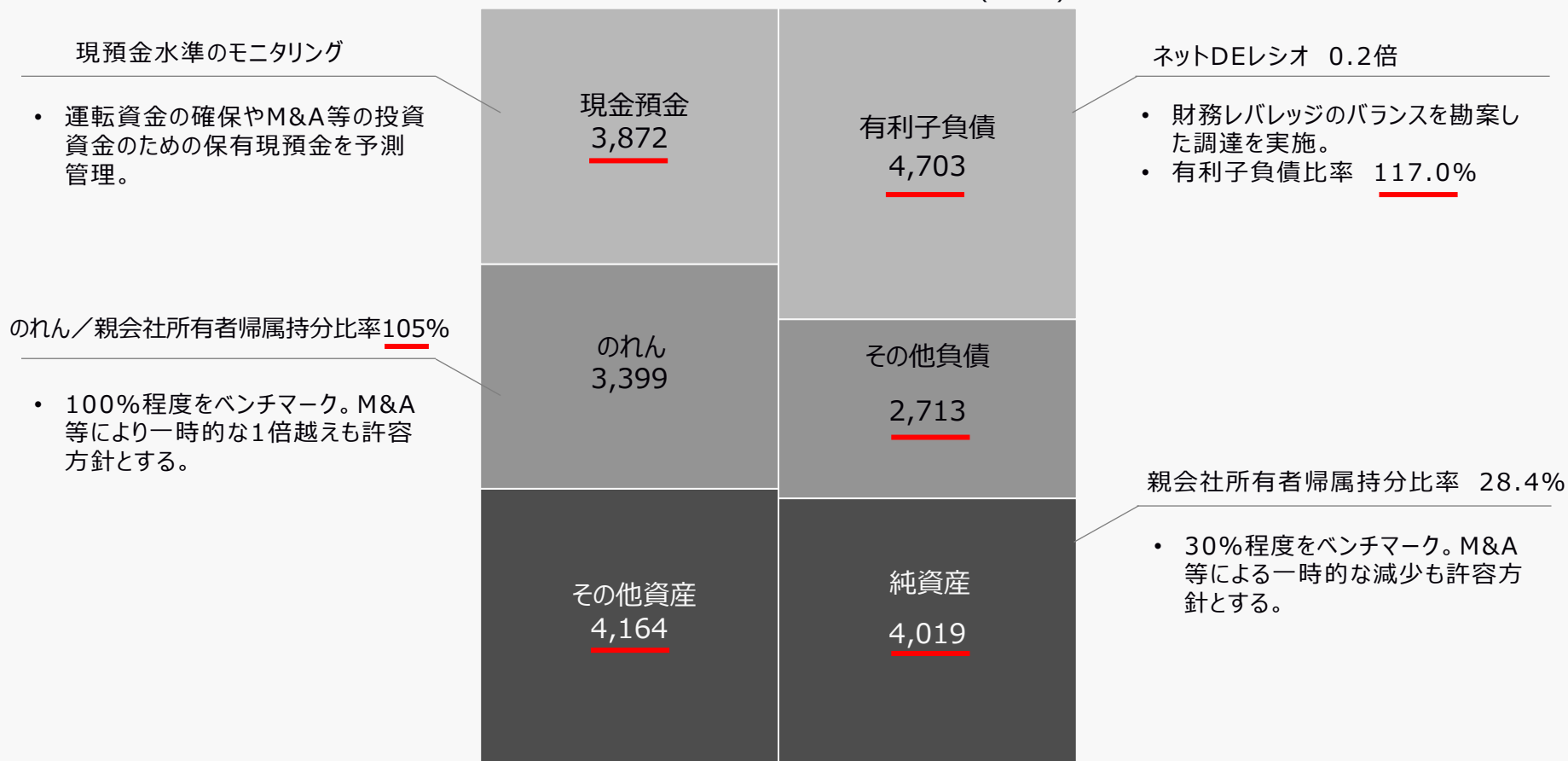
※ 親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)

財務基盤の盤石化を図りながらも、積極的な事業投資やM&Aが実行可能な投資資金を確保していく。

2023年3月末時点

連結BS (IFRS)

(百万円)

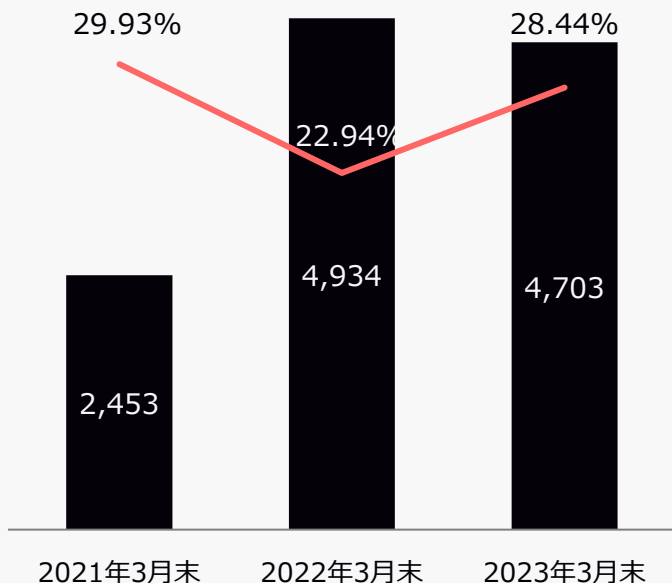


※ 親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)

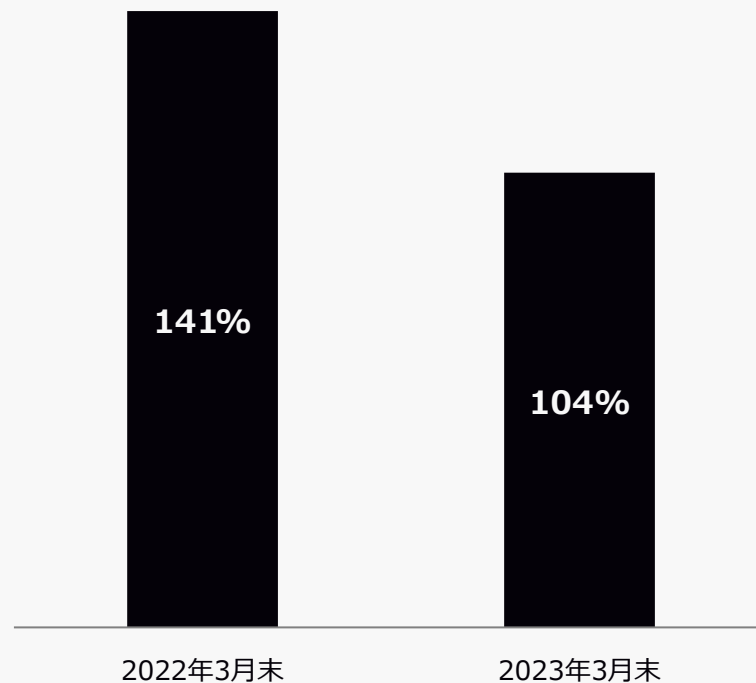
営業CF創出により、23年3月期末でのれん/親会社所有帰属持分比率が104%まで改善。今後の投資実行も営業CF拡大により、財政状態改善を見込む。

有利子負債残高・親会社所有帰属持分比率

有利子負債残高 (百万円) 親会社所有者帰属持分比率



のれん/親会社所有帰属持分比率

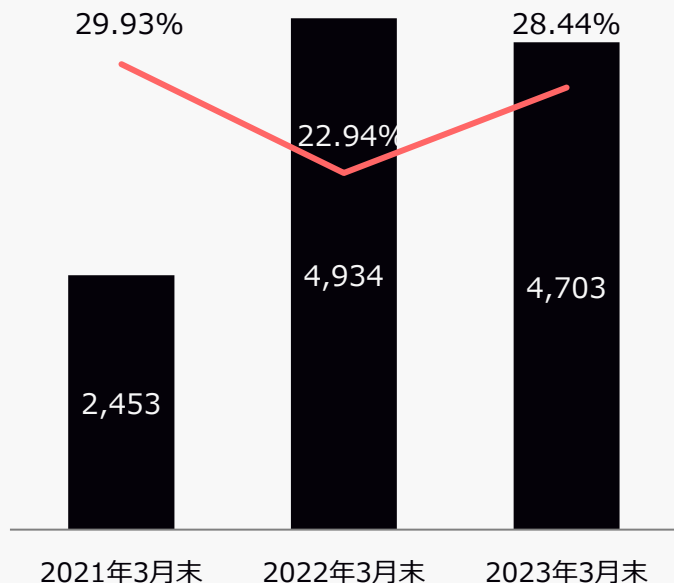


※ 親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)

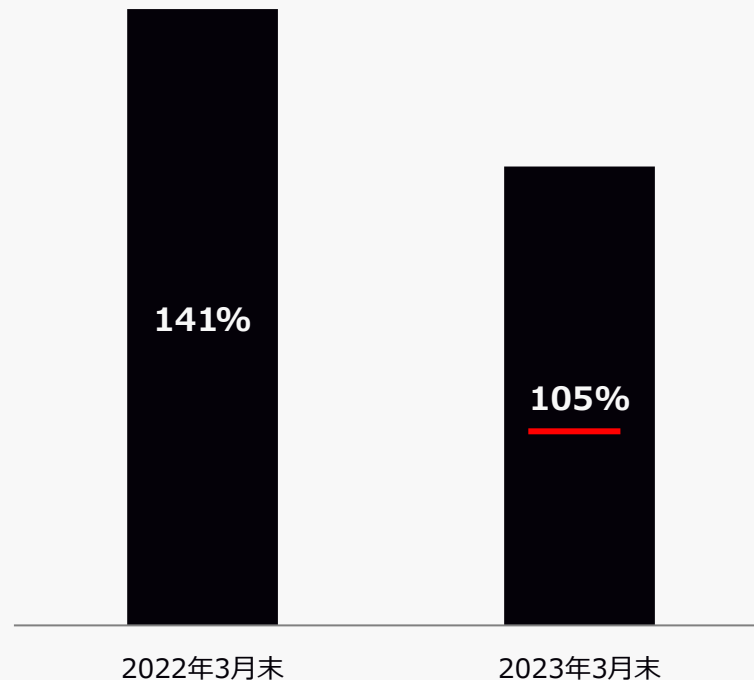
営業CF創出により、23年3月期末でのれん/親会社所有帰属持分比率が105%まで改善。今後の投資実行も営業CF拡大により、財政状態改善を見込む。

有利子負債残高・親会社所有帰属持分比率

■ 有利子負債残高 (百万円) — 親会社所有者帰属持分比率



のれん/親会社所有帰属持分比率



※ 親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)